

高取町土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区 まちづくり基本構想

目次

1. 高取町の概要	1
2. まちづくり基本構想の基本的な考え方	6
3. 地区の概要	7
4. 地区の課題整理	15
5. コンセプト、目標	17
6. 基本方針	18
7. 基本となる取組	19
8. 基本構想図	20

1. 高取町の概要

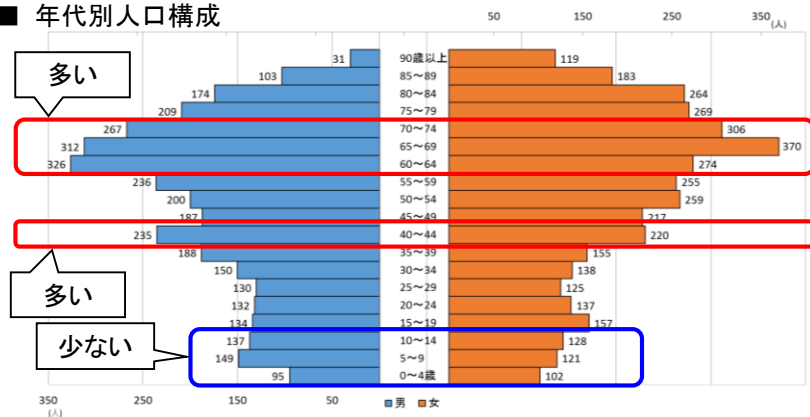
■ 人口

- 年代別人口は、60歳代～70歳代前半の層と現在40代前半となる第二次ベビーブーム世代が多い。年少人口は少なく、少子化の傾向にある。
- 総人口は、戦後微増したが、その後は減少傾向にある。

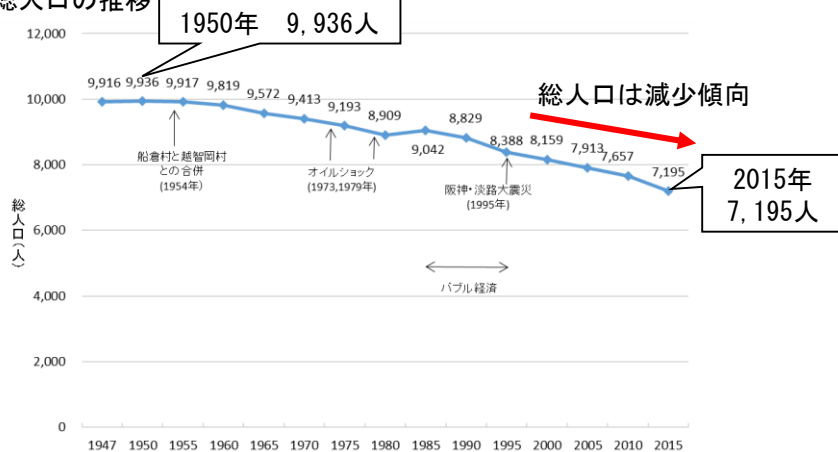
総人口	男	女
7,195人	3,396人	3,799人

資料：国勢調査（2015（平成27）年 10月1日現在）

■ 年代別人口構成



■ 総人口の推移



資料：1960年（昭和35年）以前は国勢調査、1965年（昭和40年）～2010年（平成22年）は「奈良県推計人口調査」

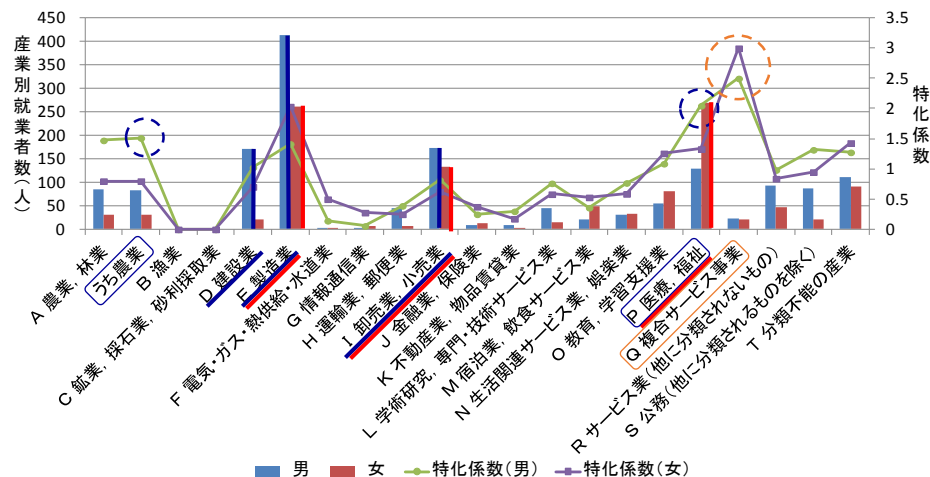
（奈良県統計課 各年10月1日現在）、2015年（平成27年）は国勢調査（10月1日現在）

■ 産業

- 男性は、製造業、建設業、卸売・小売業の順に就業者数が多く、女性は製造業、医療・福祉、卸売・小売業となっている。
- 特化係数※をみると、男女とも複合サービス業（郵便局、農協等）、製造業で高く、男性では農業、医療・福祉で高くなっている。
- 一方、高取町の主要産業である製造業（薬産業）は、高齢化が進行しつつあり、農業も後継者不足等による耕作放棄地が増加している。

※X産業の特化係数＝高取町のX産業の就業者比率/全国のX産業の就業者比率

■ 従業地による産業別就業者数と特化係数



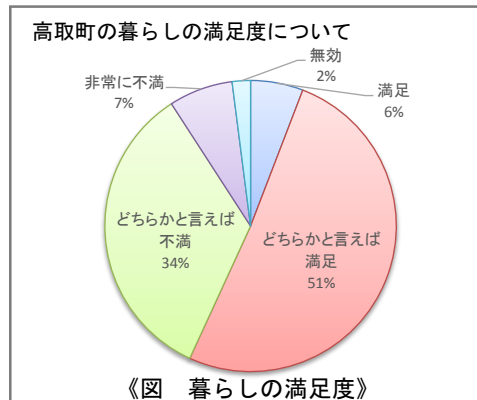
脅威：人口減少、少子高齢化が進む。
産業の後継者不足が進む。

1. 高取町の概要

■ 住民意識

■暮らしの満足度について

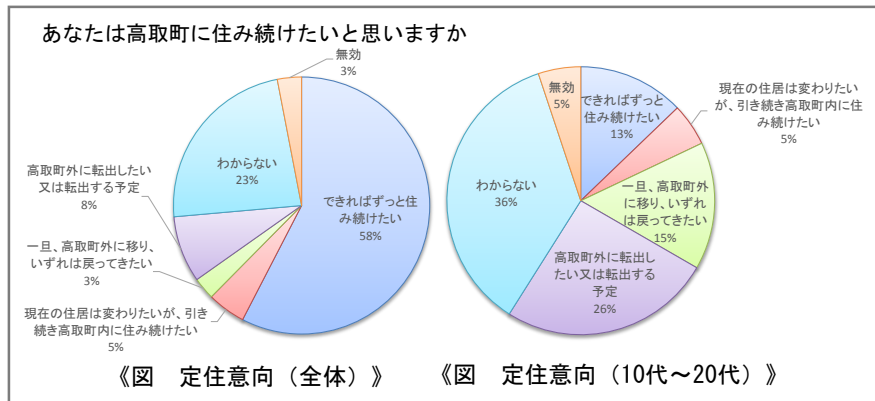
- 住民アンケートでは、高取町での暮らしの満足度は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と答えた人が最も多く、約6割を占めるが、約4割は不満と回答している。



資料：「高取町人口ビジョン」（平成28年3月 高取町まちづくり課）

■定住について

- 定住・移住について、高取町に「住み続けたい」と回答した人は多いが（約60%）、「転出したい又は転出する予定」と回答した人も一定程度いた（約10%）。10代～20代だけで集計すると、「わからない」、「転出したい又は転出する予定」と答えた人が多く（約60%）、若い人は転出意向が強いことが伺える。
- 転出意向の理由では「買物等日常生活が不便だから」「交通の便が悪いから」「仕事をする場所から遠いから」が多く、若い世代の転出抑制や町内での暮らしやすい環境整備に取り組む必要がある。



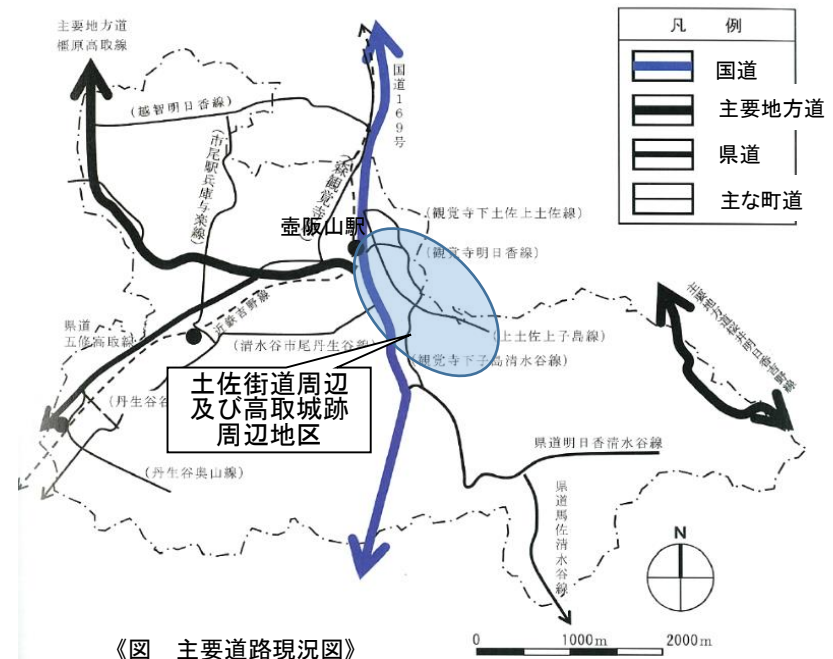
資料：「高取町人口ビジョン」（平成28年3月 高取町まちづくり課）

脅威：日常生活の不便さ等を理由に、10～20代の転出意向が高まっている。

■ 交通

■道路

- 町の中央を南北を国道169号が通っており、これに主要地方道、県道、町道が繋がり道路網が形成されている。周辺地域から高取町へは、国道169号及び近鉄吉野線が主要な交通手段となっている。
- 土佐街道（町道：上土佐上子島線）は、生活道路と観光景観道路の両面の特性を有する路線となっている。



資料：「高取町総合計画」（平成18年3月 高取町）

■鉄道

- 大阪中心部へ、約1時間でアクセスすることができる。
- 町の中央を南北に近鉄吉野線が通っている。町内の駅は、壱阪山駅、市尾駅、葛駅の3駅。壱阪山駅が、町役場など中心地に近く、町の玄関口となっており、年間40万人強の利用がある。

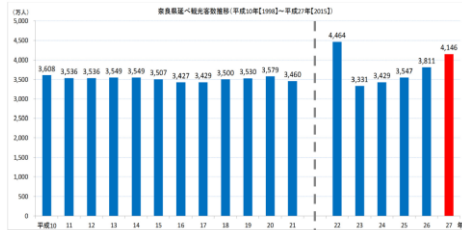
強み：大阪中心部より、約1時間の時間距離に位置する。

1. 高取町の概要

■ 奈良県の観光動向

■ 奈良県延べ観光客推移

- 奈良県の観光客数は、平成27年は約4,146万人で前年比335万人の増加である。平成23年以降、増加傾向が続く。



H27年
4,146万人

資料：「奈良県観光客動態調査報告書」(奈良県観光局ならの観光力向上課)

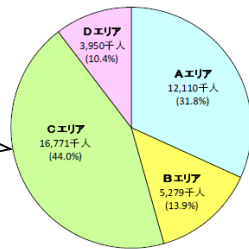
※1：集計方法の変更

■ エリア別観光客数

- 高取町が属するCエリアの観光客数は、平成27年は1,701万人で、奈良県内の41.0%を占め、最も多い。
- Cエリアは前年比で24万人の増加である。

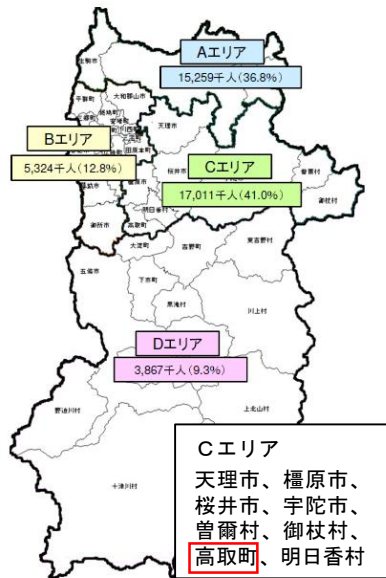
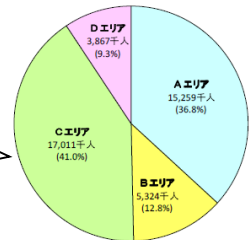
《平成26年》

Cエリア
1,677万人
(44.0%)



《平成27年》

Cエリア
1,701万人
(41.0%)



資料：「奈良県観光客動態調査報告書」
(奈良県観光局ならの観光力向上課)

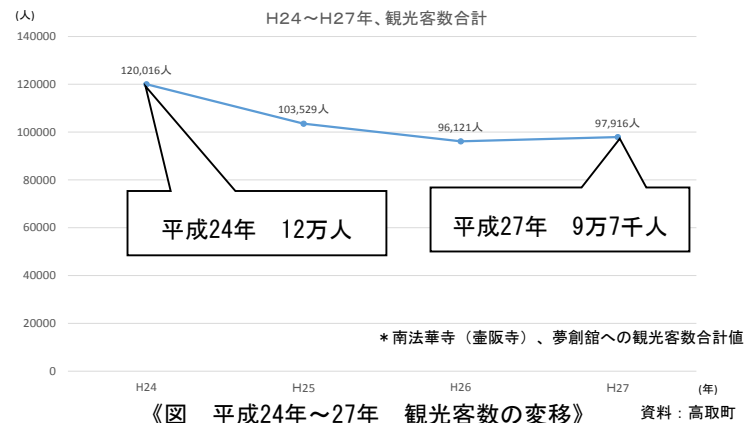
強み：高取町を含む周辺地域の観光客数は奈良県下で最も多い。

機会：奈良県では、近年、観光客が増加傾向にある。

■ 高取町の観光動向

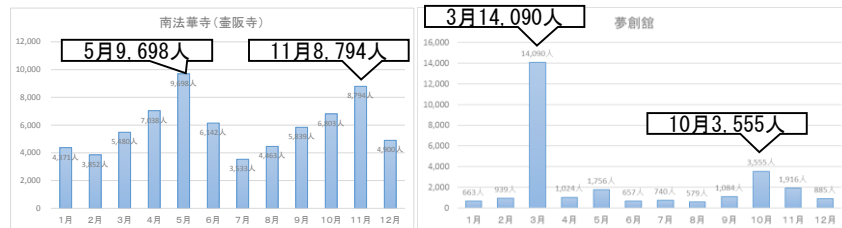
■ 高取町の観光客数の推移

- 高取町の近年の観光客入込客数、約10万～12万人程度である。
- 高取町への観光客入り込み数は、奈良県Cエリアの総観光客数の1%程度である。



■ 高取町 主要施設における月ごとの観光客数の推移(平成27年)

- 月ごとの観光客数の推移では、壺阪寺は5月、11月に多い。夢創館へは雛めぐりイベント実施期間の3月が、14,090人と突出して多く、次に10月、5月と続く。
- その他、高取町、町家の雛めぐりやたかとり城まつり等のイベント等もあり、全体としてはもう少し観光客は多いと考えられる。



《図 月ごとの壺阪寺観光客数》

《図 月ごとの夢創館観光客数》

資料：高取町

弱み：周辺地域の観光客数に対し高取町への観光客数は少ない。
イベント等の時期には多くの観光客が訪れるが、年間を通じると集客力は弱い。

1. 高取町の概要

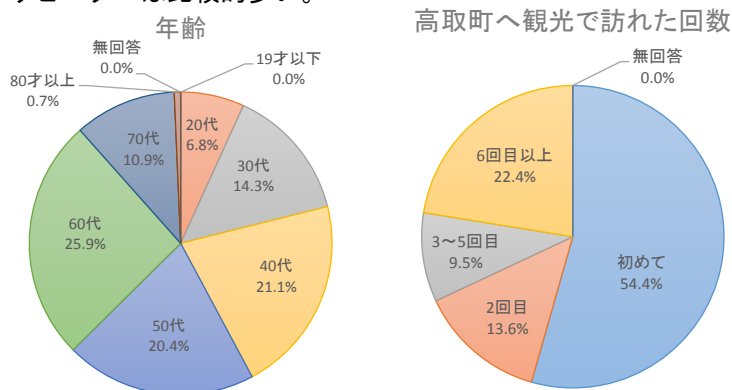
■ 観光客アンケート 結果

調査概要

- 調査日：平成28年5月28日（土）、平成28年6月4日（土）
- 調査場所：夢創館、わくわく市場、砂防ダム、壺阪寺
- 調査方法：調査票を用いた対面によるヒアリング
- 調査対象人数：147人

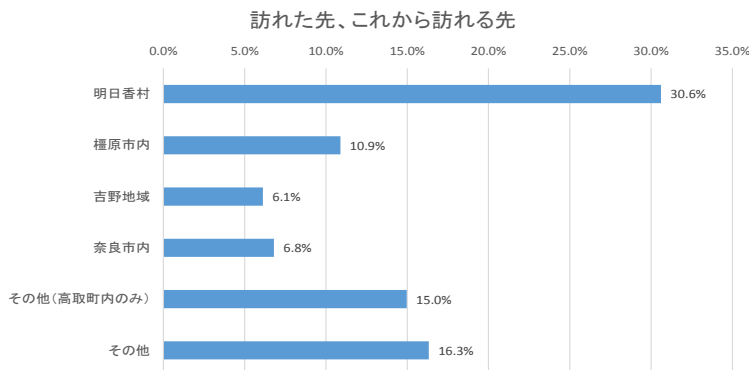
A 客層について

- 若い世代が少ない。夫婦で来る二人客、高取城跡を目指す男性一人客が多い。
- リピーターは比較的多い。



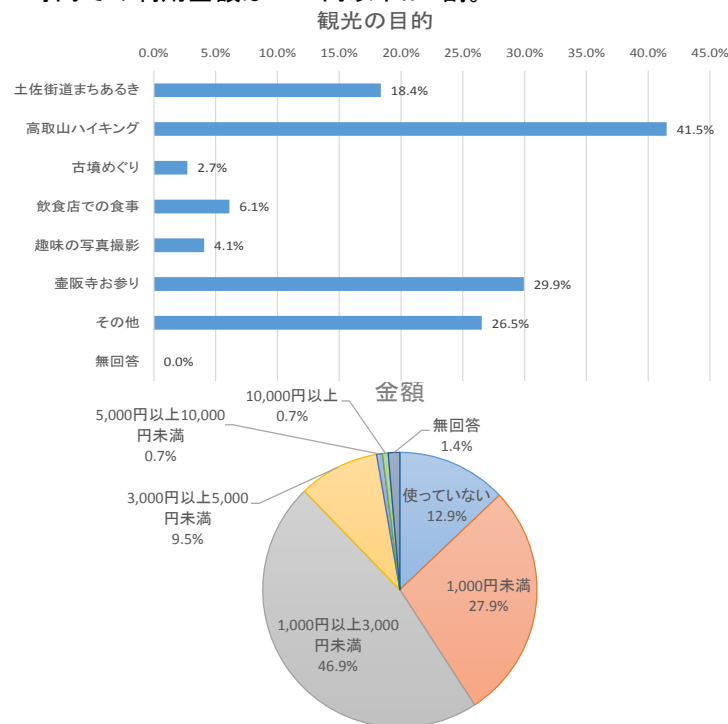
B 周遊について

- 明日香村等を目的に来訪し、あわせて高取町へ立ち寄る人が多い。
- 自家用車で来訪する人が半数。



C 滞在内容について

- 観光の目的の上位は高取山ハイキングと壺阪寺参り。
- 町内での利用金額は1000円以下が4割。



D 高取への要望・今後について

- 観光への要望で食事場所や特産品等を購入する場所を望む意見が多い。
- トイレ、案内サインへの要望が多い。
- まちづくり・おもてなしを評価、今後に期待する声も(自由記述より)。

強み：観光客のリピーターが多い。

弱み：観光客が町内で利用する金額は少額であり、現在のままだと、観光客が増加しても、あまり町に還元されない。

1. 高取町の概要

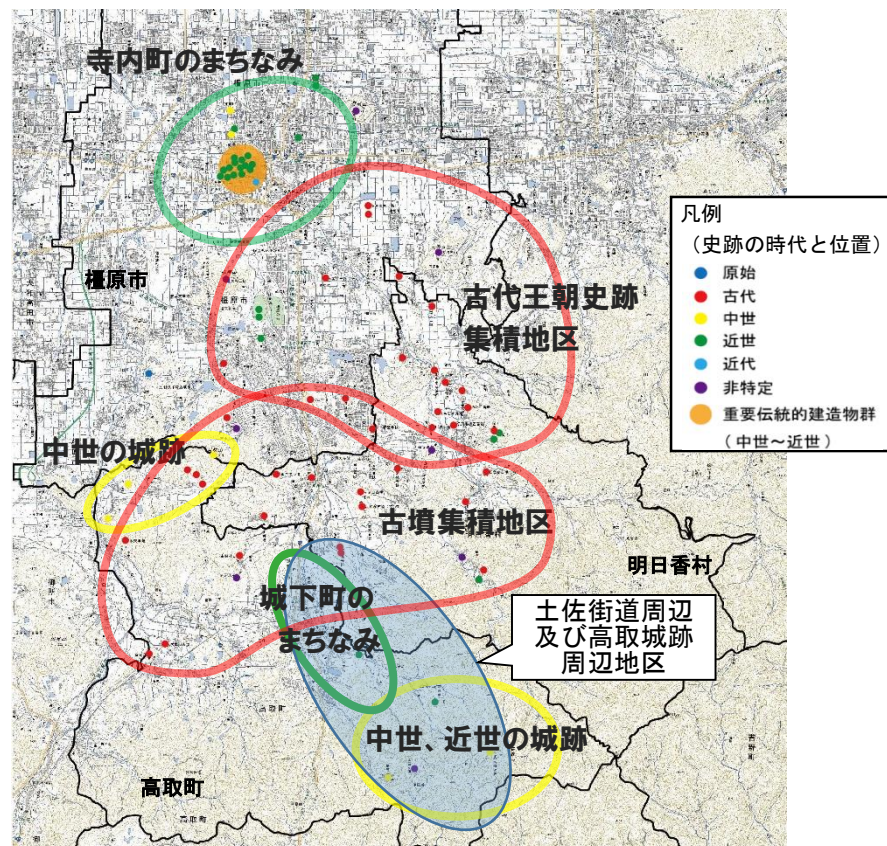
■ 高取町とその周辺の主な地域資源

■ 高取町の観光資源

- 町域の北部には古墳群、東部には土佐街道、南東部には高取城跡や壺阪寺等、ほぼ全域に渡り観光資源が分布している。

■ 飛鳥地域の主な観光資源

- 高取町、橿原市、明日香村は古くから一体的な文化圏を形成してきた地域であり、古代王朝関連史跡や古墳、中世の城跡と城下町のまちなみなど様々な時代の史跡が集積する。



《図 指定文化財の位置と時代》
(国土地理院の電子地形図(標準地図)を加工)

■ 歴史・文化

■ 高取町の時代における特徴的な出来事

古代
古墳、
飛鳥、
奈良、
平安

古墳の築造：大陸からの渡来人たちがもたらした文化が栄えた。統一国家発祥の地である飛鳥地方には多くの古墳が築造された。高取町内でも6世紀から7世紀末にかけて築造された古墳は、大小合わせて800基に及ぶと言われる。

天皇による薬猟：612年、推古天皇が聖徳太子を率いて、高取の羽田(現在の羽内)の山野にて薬猟を行ったと伝えられている。後に高取町が薬のまちとして発展の起源とされる。

土佐等の地名の由来：6世紀初めごろ、大和朝廷の都造りの労役で地方から召し出されたが、任務を終えても帰郷できなかった者たちがこの地に住み着いた。町内に残る「土佐」「吉備」等の地名は、彼らの故郷の地名に由来するという。

中
近
世
鎌倉、
室町、
戦国、
江戸

高取城ができる：越智氏が高取山上に掻き揚げ城(簡単な城郭)を築く。戦国時代になると、豊臣秀長の命により、高取城が大改修される。江戸時代には、高取城は譜代大名植村氏が藩主となる。土佐街道は城下町として栄える。

薬売りが活躍：江戸時代には高取の薬の行商人が「大和の薬売り」として全国に売り歩き活躍した。

天誅組に大砲で反撃：江戸末期、天誅組により高取城は攻撃を受けるが、大砲による反撃等もあり天誅組は敗退。大砲のレプリカの展示や、烏ヶ峰古戦場の碑が町内に残る。

近代
明治、
大正、
昭和

高取城の天守閣など取り壊し：廃藩置県で奈良県高取町に。高取城の天守閣などの建物が取り壊される。

薬産業が県の重要産業に：大正時代、高取薬業会が設立される。県の重要産業となる。

俳人 阿波野青畝活躍：高取町出身の俳人、阿波野青畝(あわの せいほ、1899-1992年)が活躍。高取町内にも夢創館ポケットパークや阿波野青畝の生家など5箇所に句碑がある。

強み：古代から現代までの様々な歴史・文化資源が点在する。
古くから飛鳥地域として、一体的な文化圏を形成する地域。

2. まちづくり基本構想の基本的な考え方

■ 目的

高取町まちづくり基本構想は、町が保有する資源を最大限に活かし、さらに磨き高めることで、各地区が魅力ある地域へ発展していくことを目的に、基本的なまちづくりの考え方や今後の重点的な取組をとりまとめるものである。

■ 基本理念

地区の魅力を高め、住民が生き活きと暮らし、町全体が元気を取り戻せるまちづくりの推進

■ 基本方針

方針1：高取町の価値を次世代に引き継ぐ

高取町に今ある資源を維持し、その価値を高めながら、次世代に引き継ぎ、高取町のブランド力を高める

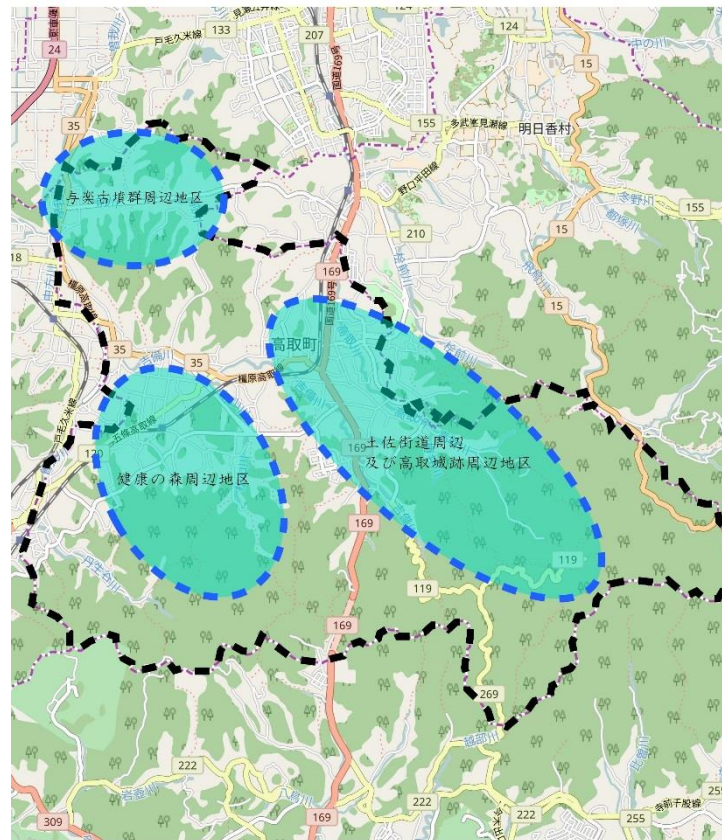
方針2：高取町の魅力向上

潜在的な高取町の魅力を発掘し、磨き高めていくことで、新たな高取町の魅力を創造し、高取町らしさ（アイデンティティ）を構築

方針3：協働・連携による取組

高取町の価値や魅力を町・町民・県で共有し、協働・連携で目標に向かって取組を進めていながら、来訪者や転入者が来てみたいと思う高取、町民が住み続けたいと思う高取のまちづくりを推進

高取町まちづくり位置図



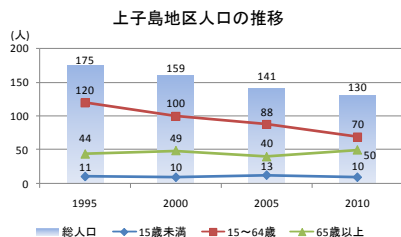
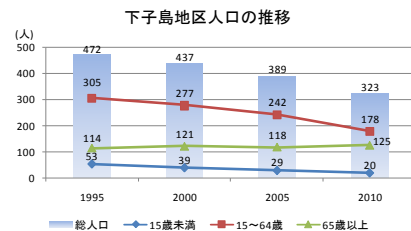
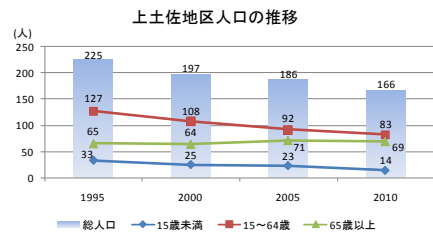
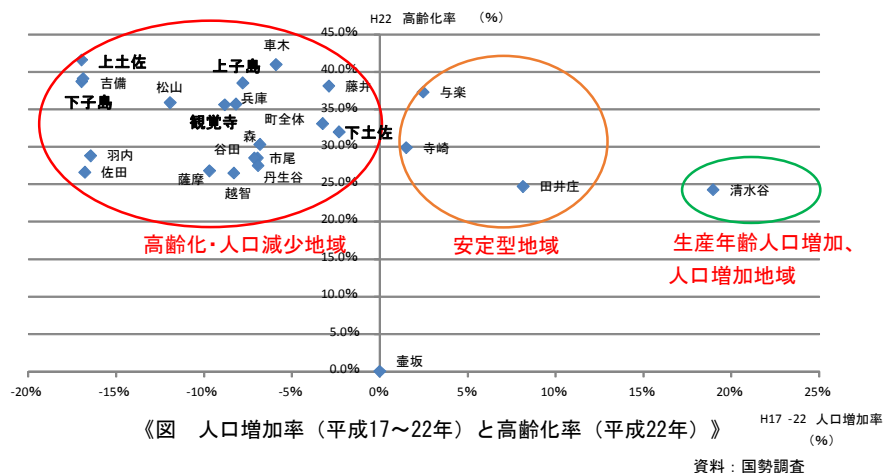
© OpenStreetMap contributors
<http://www.openstreetmap.org>

《図 高取町におけるモデル地区》

3. 地区の概要

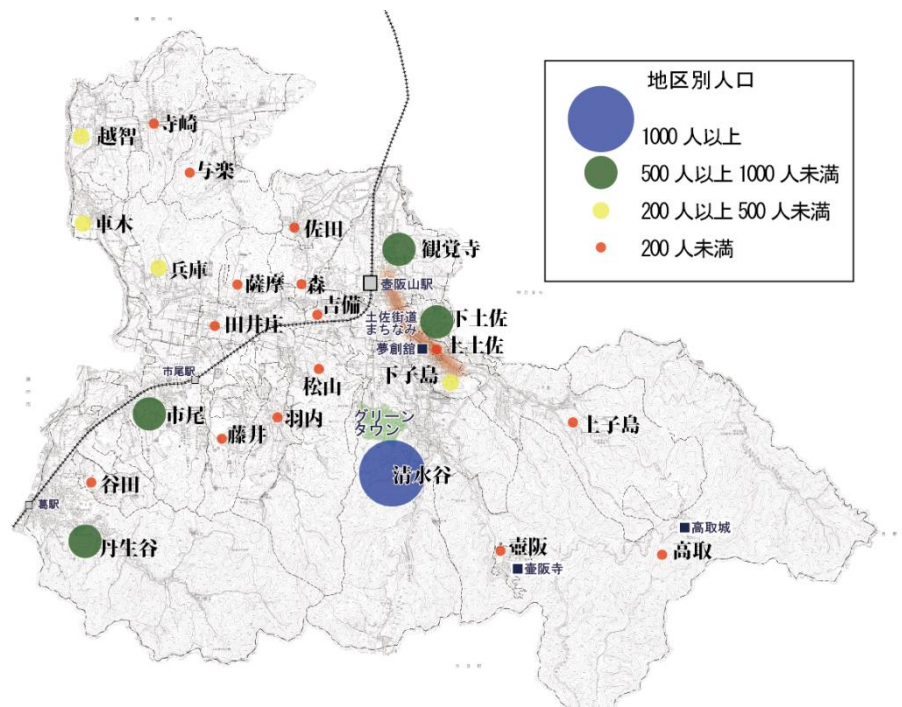
■ 人口動態

- 高取町の大部分の地域は、人口減少、少子高齢化の傾向にあるなかで、対象区域及び周辺の観覧寺、上土佐、下土佐、上子島、下子島も同様の傾向にあり、人口減少や少子高齢化が進行しつつある。



《図 地区ごとの人口の推移》

資料：国勢調査



《図 地区別人口（平成28年3月現在）》

資料：住民基本台帳

脅威：対象区域は、人口減少や少子高齢化が進みつつある。

3. 地区の概要

■ 周辺の公共交通と駐車場について

■ 鉄道

- 対象区域の最寄り駅は、近鉄壺阪山駅。年間40万人強の乗降客がある高取町の表玄関。
- 平成28年の国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳周辺地区」開園にあわせ利用者増が見込まれる。

■ 路線バス

- 橿原神宮前、飛鳥駅や壺阪山駅など都市間を結ぶ八木下市線が運行。壺阪山駅から壺阪寺前の高取町内を結ぶ壺阪山線が運行。
- 八木下市線は1日10本程度。壺阪山線は春～秋の土日は1日11本、それ以外は1日2～4本の運行。

■ 自転車

- 壺阪山駅前にはレンタサイクルのサービスがない。約800m離れた「街の駅城跡」でレンタサイクルのサービスを行っている。
- 隣接する明日香村や橿原市内には、相互乗捨可能なレンタサイクルがある。

■ MICHIMO

- 2人乗りのミニ電動自動車のレンタルサービス事業。各地点ごとに観光案内を表示するタブレットも搭載。周遊の手段として利用が期待できる。2014年10月に利用が開始された。
- 飛鳥駅前に営業所がある。土佐街道周辺や高取城跡に最寄の駐車場エリアも含まれる。



(国土地理院の電子地形図(標準地図)を加工)



《写真 MICHIMO (2人乗り)》

■ 駐車場

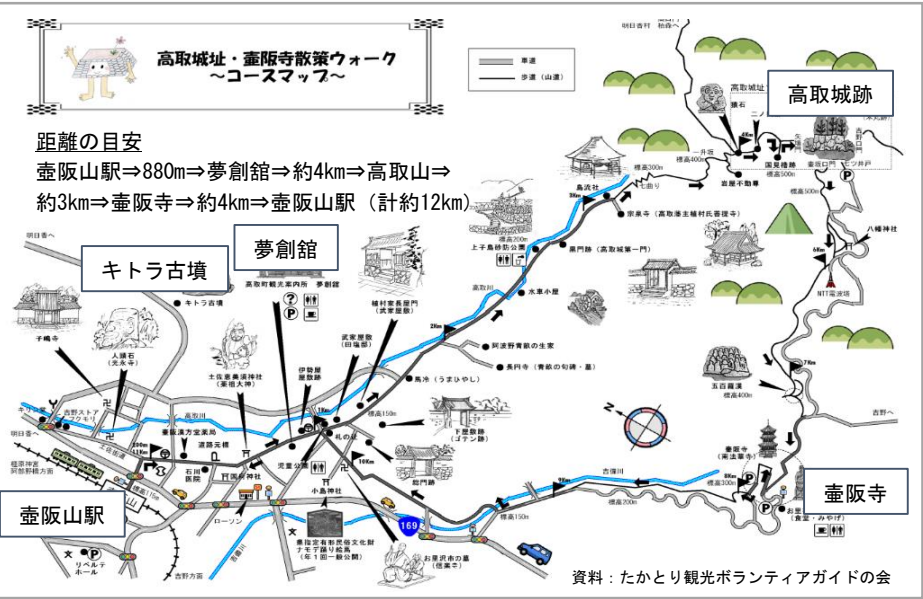
- 土佐街道周辺では「高取観光駐車場」と「夢創館駐車場」等がある。高取城跡周辺では駐車場はない。

強み：対象区域内に壺阪山駅があり、土佐街道へのアクセス性は良い。
MICHIMOのサービスエリア内にあり、新たな移動手段として期待。

弱み：対象区域内の移動は、徒歩か自動車での移動が主。
高取城跡周辺には、駐車場がない。

3. 地区の概要

■ 観光資源と歳時記



《図 高取城跡・壺阪寺ウォーク コースマップ》

高取城跡



高取山(583m)山頂に築かれた山城。1332年に高取の豪族、越智八郎が築城。1583年に豊臣秀長の命で本多氏が入城し27の櫓と33の門、2900mの土塀、3600mの石垣をもつ近世的城郭として整備。明治時代に解体され現在は石垣が残る。麓から天守台までの高低差は390mで日本一の比高を誇る。国指定史跡。日本百名城にも選定。



《写真 高取城》
(明治時代撮影)

夢創館



土佐街道沿いに位置し町の観光案内所無料休憩所として、町家を改装し2002年オープン。ギャラリーや資料の展示・地場産品販売など行う。

壺阪寺



奈良時代の創建と伝えられる古刹。人形浄瑠璃「壺坂霊験記」の舞台として有名。四季の花々や紅葉の名所としても人気。西国三十三所観音霊場の札所。三重塔や礼堂は国の重要文化財に指定。

主要観光施設

- 土佐街道、高取城跡、壺阪寺等の高取町の代表する観光資源が位置するが、それぞれは距離が離れている。
- 観光案内所「夢創館」は壺阪山駅から約900mに位置し、駅前には観光案内所はない。
- 資料館は「くすり資料館」「土佐街道懐古館」「青畝文学館」があるが、総合的に町の歴史や文化を学べる施設がない。「土佐街道懐古館」「青畝文学館」は見学は事前連絡が必要。
- イベントでは、3月の「雛めぐり」、10月の「町家の案山子めぐり」、11月の「たかとり城まつり」などが開催されている。
- 高取城・戦国ヒルクライムなど、民間による新たなイベントなども開催されている。

《表 平成27年に開催されたイベント》

日程	イベント名	場所/主催
1/10	土佐えびす	土佐恵美須神社
1/18	初観音(もちまき等)	壺阪寺
3/1～31	町家の雛めぐり	土佐街道/天の川実行委員会
8月中下旬	高取城・戦国ヒルクライム	高取城跡周辺/高取城戦国ヒルクライム実行委員会他
10/1～30	町家の案山子めぐり	土佐街道/天の川実行委員会
11/20	神農薬祖神祭	土佐恵美須神社
11/23祝	たかとり城まつり	土佐街道他/たかとり城まつり実行委・町観光協会
11/23祝	壺阪寺インドまつり	壺阪寺

強み：対象区域内には土佐街道、高取城跡、壺阪寺などの高取町を代表する観光資源が位置する。
多彩なイベントが実施されている。

弱み：土佐街道、高取城跡、壺阪寺等は距離が離れている。
駅前には観光案内所がない。
各種資料館はあるが総合して町を学べる施設がない。



《写真 くすり資料館》

■ 対象区域に関わる計画

①「高取町『漢方の里』まちづくり事業基本構想

策定調査報告書」(平成11年3月高取町他)

- ・ 壱阪山駅から旧城下町通り（土佐街道）を「漢方の道」として位置づけ、「漢方の里・まちづくり拠点」の形成などが示されている。

②「高取町都市計画マスタープラン」

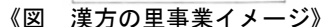
(平成20年3月高取町 ※目標年次 平成28年度)

- 高取町の生活拠点として壺阪山駅及び市尾駅周辺を位置づけ、これらの駅周辺及び駅を結ぶ交通周辺に集落地、新市街地、住宅市街地を配置。

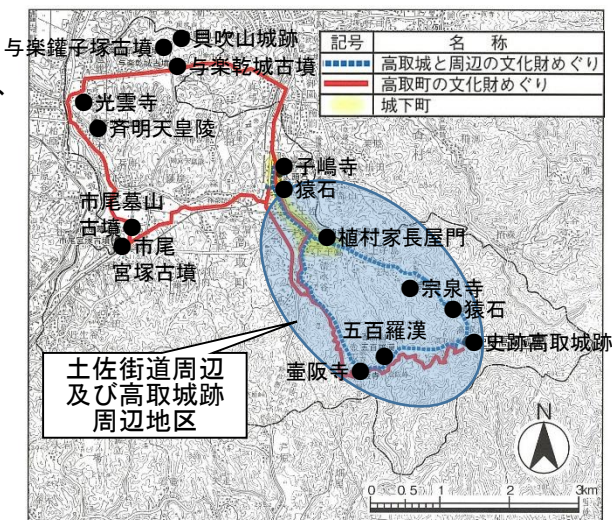
③「史跡高取城跡保存管理計画」（平成18年3月
高取町教育委員会）

- 高取城跡を地区区分ごとに保護管理方針を定め、段階的な整備を検討。

- ・ 周辺地域と連携したネットワーク計画として市尾墓山古墳や光雲寺などの「高取町の文化財めぐり」ルート、壺阪寺や植村家長屋門などの「高取城と周辺の文化財めぐり」ルートを定める。



資料：「高取町『漢方の里』まちづくり事業基本構想策定調査報告書」（平成11年3月 高取町他）



《図 ネットワーク図 (案) 》

資料：「史跡高取城跡保存管理計画」（平成18年3月 高取町教育委員会）

■周辺計画（近年の動向を含む）

①飛鳥観光案内サイン整備計画

(平成27年3月国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所)

- ・ 檜原市、明日香村、高取町の観光客周遊の支援のため、地域内の各団体が連携し共同で観光案内サインを設置する計画。

②日本遺産の認定

「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」

(平成27年度認定)

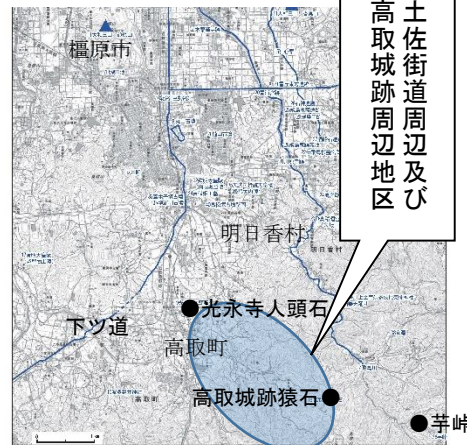
- ・ 高取町は構成要素を含む地域として、橿原市、明日香村と一体となり認定を受ける。
- ・ 対象区域には、構成要素の「高取城跡猿石」「光永寺人頭石」「芋峠」が位置する。

③国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」の開園

- 対象区域に隣接する国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が平成28年9月に開園した。



《写真 開園した国営飛鳥歴史公園



開園した国営飛鳥歴史公園 《図 町内の日本遺産を構成する文化財位置図》
「キトラ古墳地区」》 資料：日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち～

資料：日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち～

機会：高取町、橿原市、明日香村の観光客周遊支援のため、観光案内サイン設置の計画が進められている。

「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」として、高取町の資産が認定された。

対象区域に隣接する国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園した。



《写真 飛鳥観光案内サイン》

3. 地区の概要

■ これまでの整備や近年の動き(主に行政の動き)

- 平成8年～12年にかけて古くからの『城への“みち”』、現代の『暮らしの“みち”』として培われた“みち”を中心に、道路の美装化、集会所の改修、小公園の整備などの一体的な整備を図り、歴史的な資源（まちなみ）を活かした整備が行われてきた。



《写真 観光案内所「夢創館」》

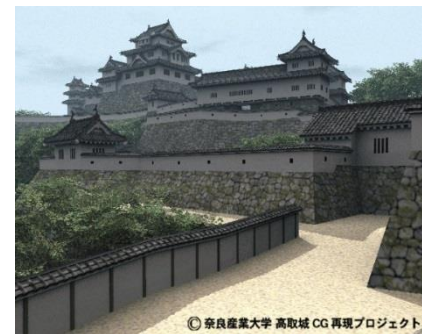


《写真 児童公園》



《写真 景観に配慮した舗装》

- 近年、高取町と奈良産業大学が協力し、高取城をデジタル再現する「高取城 CG再現プロジェクト」が実施され（平成19年3月）、昔の高取城の様子を見ることができるようになった。
- 土佐街道や高取城跡周辺などでは、CGを活用した案内サインなどが設置されている。



《写真 CGを活用したサイン》



《写真 高取城跡に設置されたCGの情報が取得できるQRコード》

強み：これまで一定の景観整備が行われてきた。

最近では、かつての城の様子を再現したCGの活用が進む。

3. 地区の概要

■ 住民主体のまちづくり(主に住民の動き)

- 平成18年1月より住民による「景観の保全と活用」の取組が始まる。
- 「土佐街なみ天の川計画」では、「観光交流地域の創出」、「シニア住民の心身機能の活性化」などを掲げている。
- 現在、様々な住民主体のまちづくりが実施されているが、活動の主体となっている住民の高齢化が進んでいる。



資料：「歴史的な街並みを活かした景観まちづくり」(NPO法人 住民の力)

■ 取組の事例① まちづくり拠点整備事業

- 住民より寄付金528万円、奈良県より500万円拠出、民間都市開発推進機構より500万円拠出を受け、「まちづくり拠点整備ファンド」を設置。
- 観光案内所 「夢創館」「町家のギャラリー輝」を運営。

■ 取組の事例② まちづくり拠点整備事業



《写真 旧JA倉庫を改修した町家カフェ（左）
旧JA車庫を利用した農産物直売所（右）》

■ 取組の事例③ 旧城下町の景観とシニア住民のもてなしを活かした町家の雛めぐりイベント



《写真 雛めぐりイベント》

■ 高取町観光ボランティアガイドの会

- たかとり地域の良さや文化財などを地域内外に紹介するため、ボランティアによる観光案内が実施されている。

会員数25名（平成26年） 発足 平成20年8月7日

活動内容：観光ガイド、イベントの企画・主催、地域文化財の研究

資料：高取町観光協会HP

■ 高取土佐街なみ天の川計画実行委員会

- 土佐街道のまちなみ整備等を実施。

会員数11名 発足 平成18年1月

目的 日本一の山城「高取城」の城下町高取土佐街なみは、江戸時代から昭和30年代までは、大変賑わっていた。この街なみに賑わいを取り戻し、まだ残っている城下町の景観を保全し、次代に伝承していく事を目的に設立。

資料：奈良県HP

■ 高取町土佐街道沿いの景観住民協定

- 土佐街道沿い自治会の締結したルールが、県景観条例に基づく奈良県景観住民協定として認定を受ける。（平成23年）

協定の内容

- 街並みに調和した建築物の意匠・形態につとめること
- 屋外広告物設置の際には街並みに配慮したデザインにし極力、木製にすること
- 街並み保全の一環として、道路・水路の清掃や美化活動に取り組む等

資料：奈良県HP

強み：まちなみ保存や活用など、市民主体のまちづくり活動が活発に行われている。

脅威：まちづくり活動の主体となっている住民の高齢化が進んでいる。

■ 対象区域の現状(壱阪山駅・土佐街道周辺)

- ・ 駅前に観光案内所や、観光看板の充実が必要。
- ・ ロータリー化や歩車分離が必要。

町家を改装し
ギャラリーと
して利用。

凡例

-  路線バス
 MICHIMO 走行可能エリア
 歴史的まちなみ集積地
 高取城跡コース（車通行可）
 高取城跡コース（歩行者専用）
 主な観光施設
 レンタサイクルステーション
 観光用駐車場
 トイレ
 対象区域
- 地域会議で
 の住民意見

観光案内所、無料の休憩施設。

駐車場からの地区案内や誘導がない。

昔からの町家が残るが、新しいデザインの建物も見られる。景観に配慮した路面整備などが行われている。町家を店舗などへ活用する試みも行われる。



普段は落ち着いた雰囲気のままなみだが、イベント時は仮設の店舗なども出て観光客で賑わう。イベント時以外でも花などで軒先を飾る民家も多い。



まちから城跡の石垣などは見えないが、「つし2階建」の町家や水を堰き止め防火用に使える水路や「駒止め」など城下町の名残が残っている。



薬の神様を祀った土佐恵美須神社
や、古い町家建築の薬局や医院など
が並び、薬の町としての趣がある。



空き家が増加しつつある。

- ・店が減りまちが寂しい。・空き家が増加している。
- ・昔と景観がかわった。・住んでまちなみを残したい。
- ・観光客にはまちなみが高層ビル。
- ・町から城の石垣を見えるようにしたい。
- ・自動車通行を少なくしたい。

旧高取駅
重要文化財
敷らしい

旧高取藩の筆頭家老屋敷。県の重要文化財に指定されている。武家屋敷らしいなまこ壁が特徴。

かつ
復元

かつては城内にあった「松ノ門」が復元されている。

強み：城下町の趣きが感じられるまちなみが残されている

弱み：壺阪山駅は、拠点としての機能が不足している。
土佐街道から高取城跡が見えないことから、土佐街道と高取城跡との一体性が感じられない。

弱み：新しいデザイン
の建物や
空き家の増加。

3. 地区の概要

■ 対象区域の現状(高取城跡周辺)

凡例

路線バス

MICHIMO 走行可能エリア

歴史的まちなみ集積地

高取城跡コース（車通行可）

高取城跡コース（歩行者専用）

主な観光施設

レンタサイクルステーション

観光用駐車場

トイレ

対象区域

地域会議での住民意見

■砂防公園

水飲み場やトイレがある。桜の名所。

■水車小屋周辺

路沿いに農地が続く。復元した水車小屋あり。

■八幡神社下

駐車場がなく、路上駐車が見られる

■壺阪寺

巨大な御堂や観音像などを車道から見ることもできる。三重塔と礼堂は国の重要文化財に指定。

強み：土佐街道と高取城跡を結ぶ遊歩道が整備されており、対象区域を周遊することができる。

高取城跡や壺阪寺等に関わる歴史・文化資源が多数点在する。

弱み：高取城本丸跡のトイレや、本丸へアクセスするための駐車場が整備されていない。案内板等は整備されているが、デザインの統一等はされていない。

本丸跡から、土佐街道方面が見えないことから、土佐街道と高取城跡の一体性が感じられない。

樹木の繁茂により、石垣への影響が懸念される。

■大手道登城ルート

随所に案内サイン、ベンチ、階段などを整備。落石に注意が必要な箇所もあり、ネットをはるなど対策もされている。

■国見櫓

大和平野への眺望が開ける。土佐街道周辺も展望可。ベンチ等も整備。大手道登城ルートからそれた位置にある。

■猿石

奥飛鳥地域への分岐。

■高取城跡本丸周辺

城の解説や周遊支援の案内板が多数設置。デザインも様々で古く読みにくいものもある。

■壺阪寺經由登城ルート

大手道登城ルートと比べ壺阪寺經由のルートは悪路。

■千早門跡

高取城本丸跡には東屋やベンチなどはあるがトイレは無い。

■本丸跡からの眺望を遮る支障木有り。

城の上から360度の視界を確保
・トイレ整備が必要
・門の復元
・ハイキングコース整備が必要

■樹木の繁茂により石垣への影響が懸念される。

（国土地理院の電子地形図（標準地図）を加工）

0 500m

4. 地区の課題整理

■ 対象区域の強み、弱みの整理

強み		弱み	
地域ポテンシャル (資源性や利便性等)	●土佐街道や高取城跡等の豊富な歴史・文化資源が存在する 古代から現代までの様々な歴史・文化資源、土佐街道・高取城跡・壺阪寺などの高取町を代表する観光資源、リピーターの多さ、城下町の趣きを感じられるまちなみ ●全国区の観光地である飛鳥地域に位置する 高取町を含む周辺地域の観光客数の多さ、古くから飛鳥地域として一体的な文化圏を形成 ●大都市圏からのアクセス性が良い 大阪中心部より約1時間の時間距離、土佐街道へのアクセス性の良さ	地域ポテンシャル (資源性や利便性等)	●年間の集客力は弱い イベント等には多くの観光客が訪れるが年間を通じると集客力は弱い、周辺地域に対し高取町への観光客数は少ない ●土佐街道と高取城跡の一体性が感じられない 土佐街道から高取城跡が見えないことから、土佐街道と高取城跡との一体性が感じられない ●空き家等の増加、樹木繁茂による石垣への影響 新しいデザインの建物や空き家の増加、樹木の繁茂による石垣への影響の懸念
まちづくりの状況	●土佐街道等では一定の景観整備等が実施されている 一定の景観整備、MICHIMOのサービスエリア内、城の様子を再現したCGの活用 ●住民主体の活発なまちづくり活動が行われている まちなみ保存や活用などのまちづくり活動、多彩なイベントの実施	まちづくりの状況	●観光振興のための施設整備等はまだまだ不十分ところがある 徒歩か自動車での移動が主、土佐街道や高取城跡等は距離が離れる、駅前には観光案内所がない(拠点としての機能不足)、総合して町を学べる施設がない、高取城跡周辺には駐車場がない、観光客が町内で利用する金額は少額

■ 対象区域を取り巻く機会、脅威の整理

機会		脅威	
観光客の動向	●奈良県では観光客数が増加している 奈良県では、近年、観光客が増加傾向	人口や産業動向	●人口減少、少子高齢化等が進む 人口減少、少子高齢化、産業の後継者不足、まちづくり活動の主体となっている住民の高齢化
周辺地区の整備動向	●飛鳥地域の周遊に関する計画が進む 高取町、橿原市、明日香村の観光客周遊支援のため、観光案内サイン設置の計画が進む ●日本遺産に高取町の資産が認定された 「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」として、高取町の資産が認定 ●国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園した 対象区域に隣接する国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園	住民意向	●若い人の転出意向が高まっている 日常生活の不便さ等を理由に、10～20代の転出意向が高まっている

4. 地区の課題整理

■ SWOT分析による課題の整理

	<機会> ・ 奈良県では観光客数が増加している ・ 飛鳥地域の周遊に関する計画が進む ・ 日本遺産に高取町の資産が認定された ・ 国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園した	<脅威> ・ 人口減少、少子高齢化等が進む ・ 若い人の転出意向が高まっている
<強み> ・ 土佐街道や高取城跡等の豊富な歴史・文化資源が存在する ・ 全国区の観光地である飛鳥地域に位置する ・ 大都市圏からのアクセス性が良い ・ 土佐街道では、一定の景観整備等が実施されている ・ 住民主体の活発なまちづくり活動が行われている	<強みを活かして機会を勝ち取るためには> ①歴史・文化資源の活用による観光客の誘致 ②周辺自治体との連携 ③壺阪山駅の拠点性の強化 ④まちづくり活動の更なる推進	<強みを活かして脅威を機会に変えるには> ⑧歴史・文化資源の適切な保存 ⑨観光振興による交流人口の拡大 ⑩多様な人々の参画によるまちづくり活動の維持継続
<弱み> ・ 年間の集客力は弱い ・ 土佐街道と高取城跡の一体性が感じられない ・ 空き家等の増加、樹木繁茂による石垣への影響 ・ 観光振興のための施設整備等はまだまだ不十分などところがある	<弱みを補強して機会をつかむためには> ⑤年間を通じた集客性向上のための対策 ⑥土佐街道と高取城跡の一体感の創出 ⑦観光振興のための各種施設の整備	<弱みから最悪のシナリオを避けるためには> ⑪若い人が魅力を感じるまちづくりの推進

参考：各課題に見る住民の意見

抽出された課題	地域会議における住民の声
①歴史・文化資源の活用による観光客の誘致	・ 歴史がわかる資料館をつくる ・ 宿泊施設の新規開拓 ・ ハイキングコースの整備 ・ 門の復元 等
②周辺自治体との連携	・ 周辺地域の連携 等
③壺阪山駅の拠点性の強化	・ 観光案内所設置 ・ 駅前ロータリー化と歩車分離 ・ 駅前の観光看板の内容を充実 等
④まちづくり活動の更なる推進	・ ボランティアガイド充実とレベルアップ ・ おもてなし意識啓発 ・ ひなめぐりへの参加呼びかけ 等
⑤年間を通じた集客性向上のための対策	・ 新たな観光スポット ・ 高取城のPR方法を考える ・ ひなまつりなど人を集めるイベント 等
⑥土佐街道と高取城跡の一体感の創出	・ 城跡の石垣が見えるように ・ 城の上から360度の視界を 等
⑦観光振興のための各種施設の整備	・ トイレの整備 ・ 本丸付近に避難用の休憩所 ・ 高取城跡への駐車場の整備 ・ 看板や案内板設置 等
⑧歴史・文化資源の適切な保存	・ 町家の防災（特に火災） ・ 電柱の移設 ・ 住んで残す ・ 本丸付近の草刈り ・ 城郭の竹林対策 等
⑨観光振興による交流人口の拡大	・ 観光客と住民の交流が生まれている ・ 来訪者にも説明が ・ 観光スポットの勉強と発掘 等
⑩多様な人々の参画によるまちづくり活動の維持継続	・ 高齢者の共助 ・ まちづくりを続けるために担い手が必要 ・ 事業者などの参画 等
⑪若い人が魅力を感じるまちづくりの推進	・ 空き家バンク運営 ・ 商業施設の充実 ・ 地域の居場所づくり ・ 各家の草引や花の手入れ 等

5. コンセプト、目標

■ コンセプト、目標

<コンセプト>

日本有数の山城とその麓に築かれた城下町を一体的に体感できるまちづくり
～有数の文化資源や歴史的まちなみ（風景）を保存・活用したまちづくり～

かつての賑わいを取り戻し、まちの活力をさらに向上させることを目的として、日本有数の山城（高取城）と、その麓に築かれた城下町（土佐街道）の風景を一体的に保存・整備・活用し、多くの観光客が訪れるまちづくりを、地域住民の生活に十分に配慮しながら推進する。

壺阪山駅・土佐街道周辺エリア

○壺阪山駅：まちの玄関口としてふさわしい駅前整備

- ・ 高取町や対象区域の玄関口としてふさわしい雰囲気や機能を有する駅前となるよう駅周辺の整備を行う。
- ・ 飛鳥地域との交通結節点として、情報発信機能の強化や利便性の向上を図る。

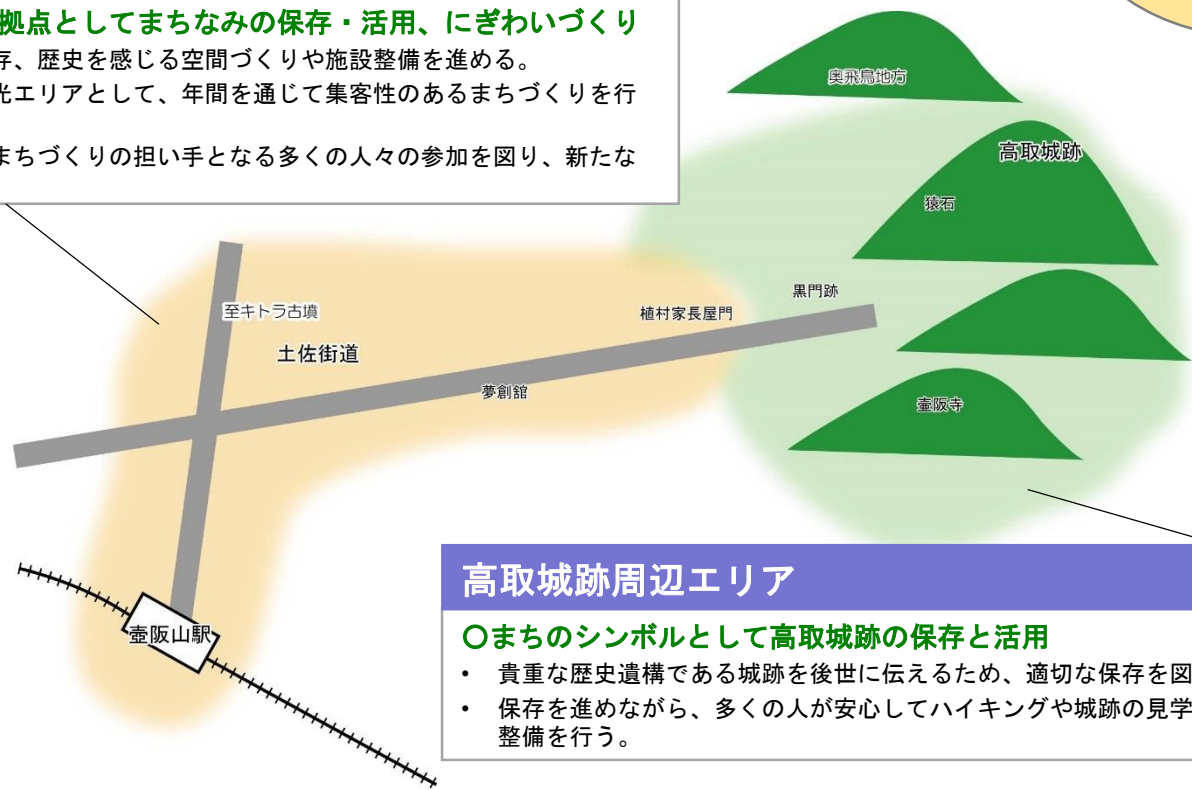
○土佐街道：文化・交流拠点としてまちなみの保存・活用、にぎわいづくり

- ・ 城下町としての町家の保存、歴史を感じる空間づくりや施設整備を進める。
- ・ 飛鳥地域の一翼を担う観光エリアとして、年間を通じて集客性のあるまちづくりを行う。
- ・ 若い人をはじめとした、まちづくりの担い手となる多くの人々の参加を図り、新たな魅力づくりに繋げる。

一体的な
まちづくり

壺阪山駅
土佐街道

高取城跡



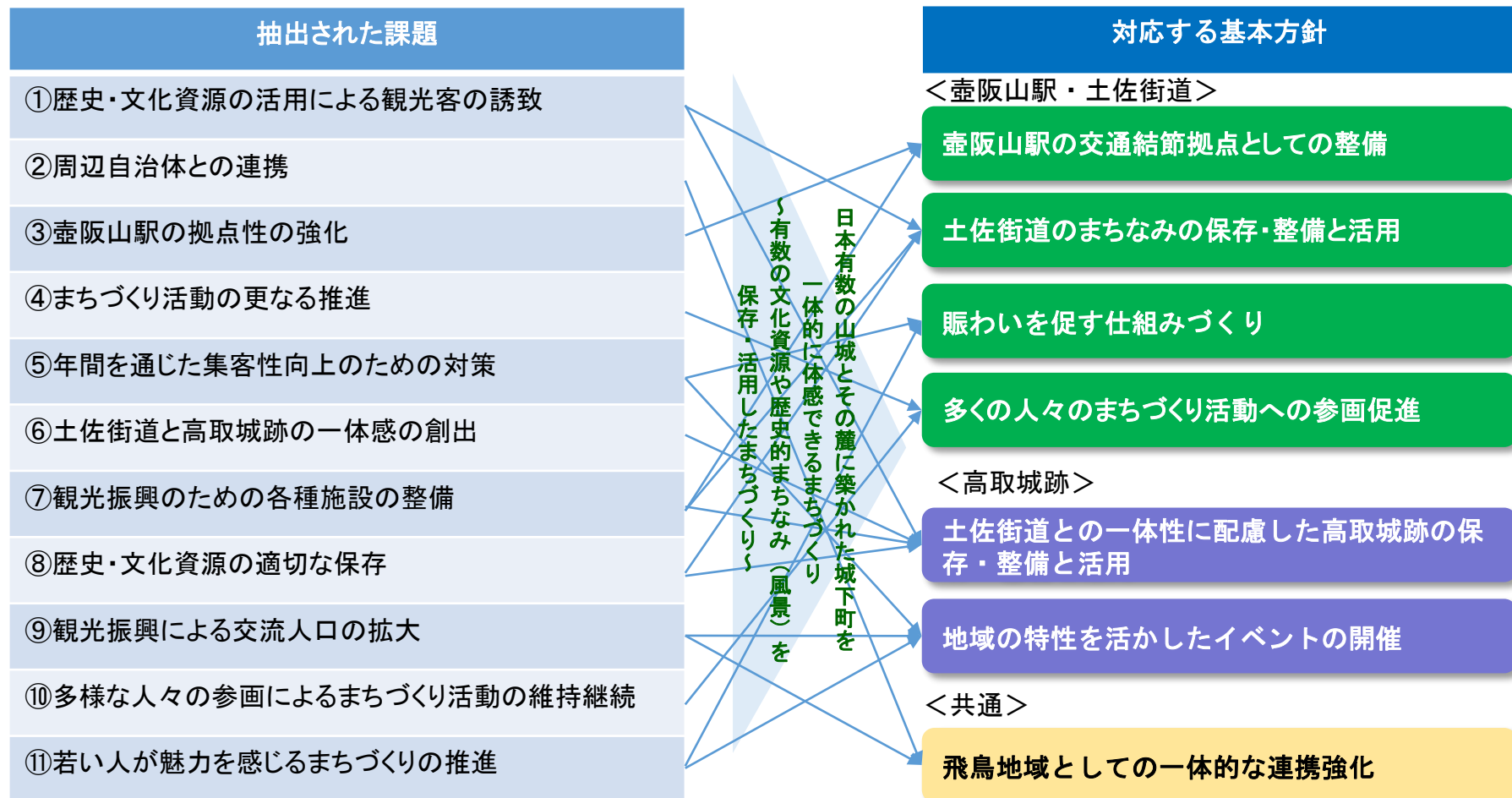
高取城跡周辺エリア

○まちのシンボルとして高取城跡の保存と活用

- ・ 貴重な歴史遺構である城跡を後世に伝えるため、適切な保存を図る。
- ・ 保存を進めながら、多くの人が安心してハイキングや城跡の見学を楽しめるような環境整備を行う。

6. 基本方針

■ 基本方針



7. 基本となる取組

■ 基本となる取組

まちづくりのテーマを踏まえ、日本有数の山城（高取城）と、その麓に築かれた城下町（土佐街道）の風景を一体的に保存・整備・活用し、多くの観光客が訪れるまちづくりを進める。

基本方針

＜壺阪山駅・土佐街道＞

壺阪山駅の交通結節拠点としての整備

交通結節拠点の整備（壺阪山駅周辺のまちの玄関口としての整備等）

土佐街道のまちなみの保存・整備と活用

土佐街道町家の保存・整備（景観ガイドラインの策定、無電柱化、連子格子窓など伝統的様式を用いたまちなみ整備等）

空き家等の活用（民泊、歴史資料館、交流施設、商業施設、チャレンジショップ等）

賑わいを促す仕組みづくり

地域ブランドづくり（薬産業の活用、特産品開発、薬関係産業の誘致等）

開業のきっかけづくり（手作り市やチャレンジショップ等）

多くの人々のまちづくり活動への参画促進

まちづくり活動への参画を促すきっかけづくり（住民ワークショップ開催等）

＜高取城跡＞

土佐街道との一体性に配慮した高取城跡の保存・整備と活用

高取城跡の保存・整備と活用

土佐街道との一体性が感じられる景観づくり（土佐街道から高取城跡への眺望及び高取城跡から周囲への眺望を確保するための樹林整備等）

周遊拠点の整備（高取城跡のトイレ、駐車場、サイン、休憩所等）

土佐街道と高取城跡の一体的な利用を促す周遊路の整備（1日ルート、ミニルート等）

地域の特性を活かしたイベントの開催

町独自の各種イベントの開催（駆け上がれ！高低差日本一の山城 等）

＜共通＞

飛鳥地域としての一体的な連携強化

周辺地区と連携した遊歩道やサインの整備

橿原市や明日香村と連携したPR戦略（ガイドブックやガイドマップの作成等）

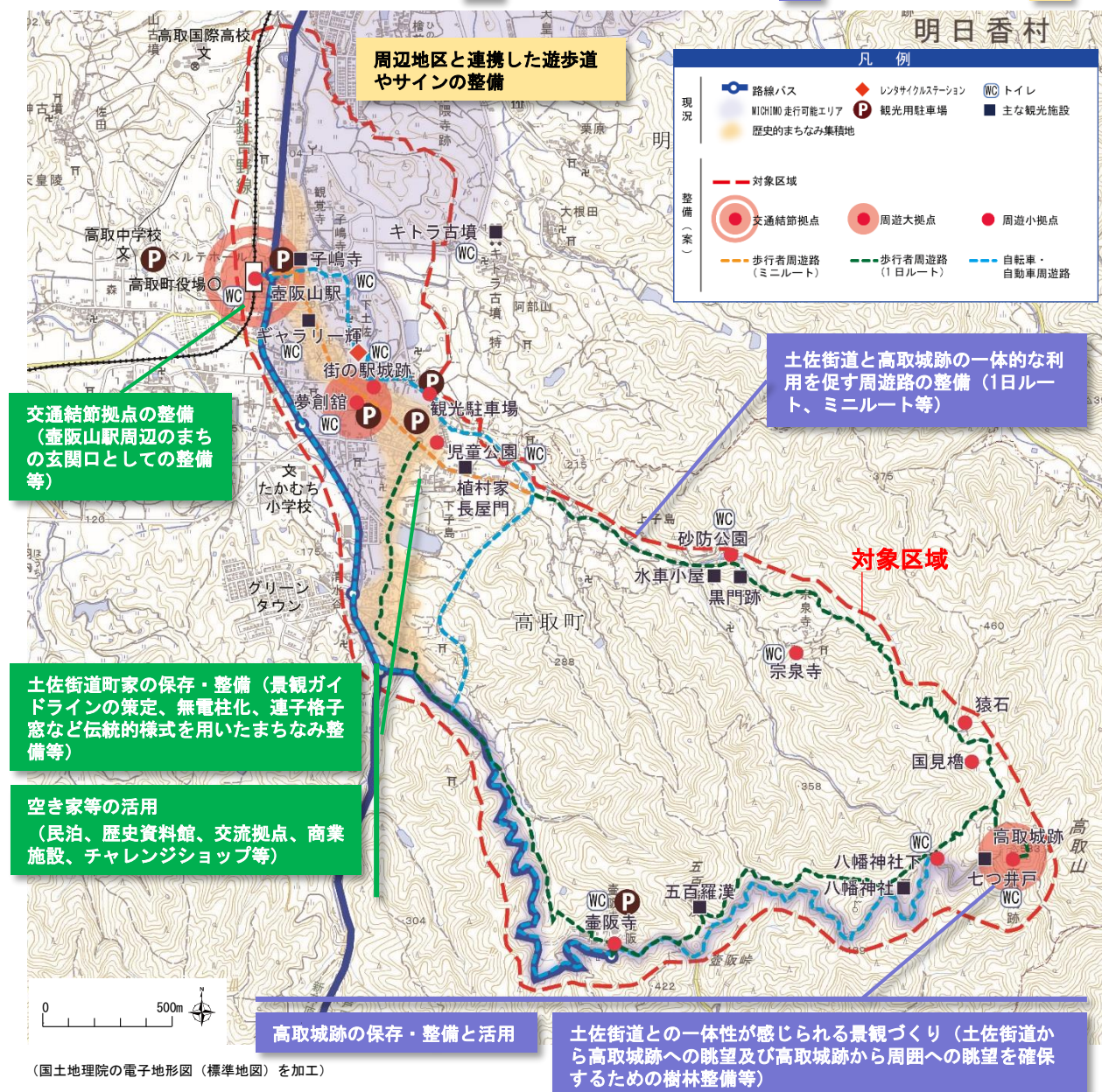
8. 基本構想図

まちづくり構想図

■：壺阪山駅、土佐街道に関する施策

■：高取城跡に関する施策

■：共通の施策



(国土地理院の電子地形図(標準地図)を加工)

名称	機能	必要となる施設(例)
交通結節拠点(出発地)	- 総合情報案内の提供 - 移動手段の提供 - 便益機能	〈情報発信〉・総合観光案内所・広域サイン 〈交通〉・レンタサイクルポート・駐車場 ・駐輪場・MICHIMO充電スポット ・路線バス停留所 〈便益機能〉・トイレ・待合所
周遊大拠点(主要な目的地)	- 地区内情報(周遊案内・魅力紹介)の提供による次の目的地への誘導機能 - 拠点及び周辺の魅力紹介による学習情報提供 - 便益機能	〈情報発信〉・地区サイン 〈交通〉・駐車場、駐輪場 〈便益機能〉・広場・トイレ・休憩所
周遊小拠点(休憩・位置確認)	- 位置確認のための案内 - 便益機能	〈情報発信〉・地区サイン、誘導サイン 〈便益機能〉・トイレ・休憩所

8. 基本構想図

■ 将来イメージ

<コンセプト>

日本有数の山城とその麓に築かれた城下町を一体的に体感できるまちづくり
～有数の文化資源や歴史的まちなみ（風景）を保存・活用したまちづくり～

壺阪山駅、土佐街道に関する施策

- まちづくり活動への参画を促すきっかけづくり（住民ワークショップ開催等）
- 地域ブランドづくり（業産業の活用、特産品開発。業関係産業の誘致等）
- 開業のきっかけづくり（手作り市やチャレンジショップ等）

高取城跡に関する施策

- 周遊拠点の整備（高取城跡のトイレ、駐車場、サイン、休憩所等）
- 町独自の各種イベントの開催（駆け上がり！高低差日本一の山城 等）

共通の施策

- 橿原市や明日香村と連携したPR戦略（ガイドブックやガイドマップの作成等）



対象区域

高取町

高取城跡の保存・整備と活用

土佐街道との一体性が感じられる景観づくり（土佐街道から高取城跡への眺望及び高取城跡から周囲への眺望を確保するための樹林整備等）

凡例（整備案）

- 交通結節拠点
- 周遊大拠点
- 周遊小拠点
- 歩行者周遊路（ミニルート）
- 歩行者周遊路（1日ルート）
- 自転車・自動車周遊路

壺阪山駅、土佐街道に関する施策

高取城跡に関する施策

共通の施策